

【様式 2】

平成 1 3 年度 授業実践結果

学校名：土岐紅陵高等学校

授業者等	授業日	平成 13 年 2 月 26 日	学 年	2 年
	授業者	土本 泰	教 科	保健
	校 種	小・中・ <u>高</u> ・特	単 元	集団の健康 (エイズとその予防)
	ねらい	社会問題となっているエイズの現状を理解させ、エイズ予防のための感染経路対策について考えさせる。		
授 業 の 流 れ	<p>1.「H I V は警告する」の V T R 視聴</p> <p>2. <u>H I V ・ A I D S 感染者合計・感染経路別内訳のグラフ・表を提示する。</u></p> <p>3. <u>2000 年 H I V ・ A I D S 感染者合計・感染経路別内訳のグラフ・表を提示する。</u></p> <p>(授業者が事前にインターネットを利用し最新情報を入手およびグラフの作成)</p> <p>4. 最近では異性間の性的接触による感染がかなりの割合になっていることを説明する。</p> <p>5. 最近、性感染症クラミジアと診断される若者の増加を例にあげ、H I V 感染の可能性について理解させる。</p>			
考 察	<p>・血液製剤による感染や、同性愛者による感染で社会的な反響を呼んだエイズであるが、最近の傾向として異性間の感染が主流を占めてきていることを理解させるよい資料となった。</p>			

I T 活用が分かるように記述願います。